

## 奨学金 募集一覧（給付型）

奨学金名	募集人数(名)	支給額(円)	支給期間	募集(支給)資格	提出先	提出期限
1 2018年度公益財団法人オリエンタルモーター奨学財団	1名	30,000円/月	2年間	①山形県内に在住または山形県内の学校に在学の者。 ②経済的な事情により就学が困難であると認められ、学校長の推薦のあるもの。入学後主な学費出資者が死亡、長期療養(入院)、失業、その他の理由により学費支弁が困難になったものを優先する。 ③品行方正で向上心がある者。	学生サポートセンター	2018年 4月23日(月) 17:00
2 平成30年度 牛久保・天田育英財団小学生募集	1名	300,000円/年		①経済的理由により学資の支弁が著しく困難である者。 ②熊本自身および東日本大震災で被害を受け、学資の支弁が著しく困難な者。 ③世帯所得(父母等)600万円以下の者。 ④平成30年4月1日26歳以下の者。 ⑤学術優秀・品行方正、身体剛健と認められる者。	学生サポートセンター	2018年 4月13日(金) 17:00
3 平成30年度 日揮・実吉奨学会 給与奨学生	各キャンパス5名以内	300,000円/年	1年間 給与期間:2018年4月～ 2019年3月 支給日:2018年7月10日 (火)	①理工系学科所属または専攻の日本人大学生・大学院生(日本国籍であること) ②ほかの奨学金との併給は可とする(授業料免除との重複も可) ③原則として年齢30歳未満 ④日本学術振興会特別研究員採用者でないこと	学生サポートセンター	2018年 4月25日(水) 16:00
4 中谷医工計測技術振興財団大学院奨学生募集	大学院生10名程度 (全国)	修士課程10万円/月 後期課程15万円/月	給付開始時より博士号取得までの最低年限	医工計測技術および関連分野において博士号の取得を目指す、日本の大学院(修士課程・後期課程)に在籍中又は入学を予定している者等。	個人応募	2018年 5月10日(木)
5 公益信託池田育英会トラスト奨学生募集	3名	17,000円/月 (毎年7月・1月に10万千円)	正規の最短就業年限	①愛媛県内の高校を卒業している者または保護者が愛媛県内に居住している者 ②大学在学者(2年生以上、新入生は対象外) ③学業・人物ともに優秀で、経済的支援の必要な方	個人応募 直接HPで確認・紹介の上応募してください	2018年 5月7日(月)
6 鷹野学術振興財団奨学生募集について	若干名	50,000円/月	1年間 (平成30年8月1日から平成31年7月30日)	平成30年4月1日現在 学部生1年～3年生、博士前期課程1年生 卒業後は「製造業への就職を希望」している者。 他の財団・民間団体等の奨学金との併給不可。	学生サポートセンター	2018年 4月23日(月) 17:00
7 平成30年度中部奨学会奨学生募集	【支給】 学部生4名/大学院博士課程6名/大学院修士課程2名 【貸与】 学部生8名/大学院修士課程4名	学部生 35,000円/月(支給・貸与) 大学院修士課程 60,000円/月(支給・貸与) 大学院博士課程 60,000円/月(支給)		平成30年度より学部1年～4年に在籍する者。 大学院修士課程・博士課程に在籍する者等。	学生サポートセンター	2018年 4月26日(木) 17:00
8 公益財団吉田育英会「マスター21」奨学生募集	1名(本校)	80,000円/月または奨学期間内に合計250万円以内の学校納付金	大学院修士課程に入学した月から2年以内	①2018年4月1日現在で指定した大学の学部4年次に在学中の者 ②2018年秋季または2019年春季に日本の大学院修士課程(博士前期課程含む)に進学を希望する者 ③進学先大学院において自然科学系分野を専攻する者。なお、進学先大学院は在学中の大学と異なっても差し支えない。	学生サポートセンター	2018年 4月17日(火) 17:00
9 川村育英会奨学生募集	1人(本学 大学院生) (全国12人)	60,000円/月 (支給総額1,200,000円)	2018年8月より大学院修士課程修了までの期間。 ただし、留年・休学等の期間は支給停止	①修士課程1年次に在学するもの ②化学系、機械系、電気電子工学、制御工学を専攻するもの ③生計を一にする家族の年間収入(祖父母の年金収入は除く)が500万円以下 ④成績証明書記載の学業成績に占める、A・優以上の最優等成績の割合	学生サポートセンター	2018年 5月25日(金) 16:00

奨学金 募集一覧（貸与型）

奨学金名	募集人数(名)	支給額(円)	貸与期間	募集(支給)資格	提出先	提出期限	ウェブサイトリンク	備考
1 日本学生支援機構 常盤奨学会平成30年度奨学生募集	12人程度(全国)	35,000円/月	奨学生として採用された時から正規最短就業期間	平成30年4月1日現在在学中か、平成30年4月より入学見込みの方で、次の①または②のいずれかに該当する方 ①福島県いわき市・茨城県北茨城市及びその周辺地域住居者の子弟 ②福島県および茨城県内の学校に在学する者	直接HPで確認・照会の上応募してください。	2018年 5月9日(水)必着	<a href="http://www.joban-syougakukai.or.jp/application.html">http://www.joban-syougakukai.or.jp/application.html</a>	
3 きらやか銀行教育福祉振興基金奨学生募集		30,000円以内/月	正規の最短就業年限	山形県に本籍または現住所をおくもので、学業人物とも優秀かつ健康であるもの 学資の支弁が困難と認められるもの	平成30年5月1日まで きらやか銀行事務局に到着 990-8611山形市旅籠町三丁目二番三号株式会社きらやか銀行総務部内 一般財団法人 きらやか銀行教育福祉振興基金 023-631-0001	2018年5月1日		給与期間:2018年4月～2019年3月 支給日:2018年7月10日(火)
4 公益財団法人小堀雄久学生募集	4名以内(各キャンパス)	40,000円(無利子)	在学学年から修学までの最短期間まで	大学・大学院生	学生サポートセンター	2018年 5月30日(水) 17:00	<a href="http://www.koborizidan.or.jp/loansrule/requirements/">http://www.koborizidan.or.jp/loansrule/requirements/</a>	
5 福井県ものづくり人材育成修学資金奨学生募集について	15名程度	60,000円/月	年2回(6月 4～9月分)、 10月(10月～3月分))	平成30年4月時点で大学院在学者等	学生サポートセンター	2018年 4月20日(金) 個人応募	<a href="http://www.fisc.jp/subsidy/2018/03/667/">http://www.fisc.jp/subsidy/2018/03/667/</a>	
6 公益財団法人TAKEUCHI育英奨学生募集	42名程度(全国)	60,000円/月	平成30年度4月から2年間支給	長野県出身者の大学・大学院生 願書及び作文用のフォーマットはウェブサイトから取得してください(パソコンによる作成必須)	学生サポートセンター	2018年 5月17日(木) 17:00	<a href="http://www.zaidan-takeuchi.or.jp/shougakukin.html">http://www.zaidan-takeuchi.or.jp/shougakukin.html</a>	
7 平成30年度中部奨学会奨学生募集	【支給】 学部生4名/大学院博士課程6名/大学院修士課程2名 【貸与】 学部生8名/大学院修士課程4名	学部生 35,000円/月(支給・貸与) 大学院修士課程 60,000円/月(支給・貸与) 大学院博士課程 60,000円/月(支給)		平成30年度より学部1年～4年に在籍する者。 大学院修士課程・博士課程に在籍する者等。	学生サポートセンター	2018年 4月26日(木) 17:00		
8 H30年度公益財団法人山口育英奨学会	大学院生(修士課程)5名 大学生27名 海学への留学生5名 * 全国	50,000円/月	正規の最短修学期間 * 変換免除あり(条件あり)	①人物・成績・健康ともに優れ、学資の支弁が困難な者 ②当会と同じ目的他の育英奨学団体から学資を貸与されていない者 ③原則として8月に本会で開催するよう学生集会(1泊2日)に参加できる者	学生サポートセンター	2018年 4月17日(火) 16:00		
9 工学部後援会学生育英金(I.普通育英金)		15,000円/月	在籍残月数の範囲内とする	工学部及び大学院理工学研究科(工学系)に在籍する学生で、経済的理由で修学することが著しく困難な者(日本学生支援機構その他各種奨学金を受けている者を除く。)	学生サポートセンターに事前に相談			貸与方法: 原則として、月額に6か月を乗じて、年2回貸与する。ただし、授業料納付の為に必要とする場合に限り、12か月分を1回で貸与する。 返還方法: 貸与総額(無利息)を次により返還する。 貸与を受けた年数の2倍の年数で貸与総額を除き、満額返還まで年1回指
10 工学部後援会学生育英金(II.特別育英金)		100,000～300,000円	1回	大学院理工学研究科博士後期課程(工学系)に在籍する学生で、研究発表の目的で国際会議等に出席するための旅費等一時金を必要とし、指導教員から推薦された者(普通育英金を受けている者を除く。)	学生サポートセンターに事前に相談			貸与総額(無利息)を次により返還する。 貸与を受けた翌々年度の末日までに、1回又は2回で満額を返還するものとする。